

水曜会

第68号

令和8(2026)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501 福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



はらのまち福山



福山市議会 水曜会

利用者増に対応するための
また、障害福祉サービス

補正予算(一次分)では、
物価高騰対策や
クラゲ館移設への対応

12月議会は11月26日開会し、会期を2日間延長
して12月19日まで24日間開かれました。
上程された補正予算案15件、議案26件は審議の
結果全て可決されました。
また、請願1件は不採択となりました。

12月定例会市議会

補正予算の内訳

一般会計補正予算(一次)	[63億2,979万円]
【内訳】	
1. 原油価格・物価高騰対策	1億7,430万円
学校・保育所・福祉施設等の食料費を補助 施設園芸・漁業用燃油価格高騰対策への補助	
2. こども未来館プロジェクトの推進	495万円
クラゲ館移築に伴う公園の配置等に関する計画検討	
3. ばらのまちづくりの推進	1,560万円
ばら公園・中央公園等への大会記念ばらの植栽	
4. 地域資源の活用	315万円
地域資源を活かした新たなビジネスの立ち上げの費用補助	
5. 事業費の整理に伴うもの	30億2,097万円
障害福祉サービスの利用者増への対応等	
6. 制度上補正を必要とするもの	30億9,817万円
財政調整基金積立金 23億8,000万円	
国庫負担金等返還金 7億1,817万円	
7. 寄付金対応	299万円
健康増進啓発用物品等購入費・ふくやま書道美術館事業費ほか	
8. その他	966万円
下水道事業会計負担金や地域集会所建設費補助など	
一般会計補正予算(二次)	[2億9,987万円]
【内訳】	
1. かき養殖事業者への支援	500万円
かき種苗購入費の補助、経営資金借入金への利子補給など	
2. 人件費分	2億9,487万円
人事院勧告等及び人事異動等に伴うもの	
2億3,742万円	
消防組合負担金、特別会計繰出金など	5,745万円
一般会計補正予算(三次)	[50億 464万円]
【内訳】	
1. 子育て応援手当給付事業費	15億 800万円
物価高騰の影響を強く受ける子育て世帯に応援手当を給付	
2. 市民生活応援給付事業費	30億1,789万円
全市民に5,000円分の商品券を給付する(その他加算あり)	
3. グリーンな企業賃上げ環境整備支援事業費	3億4,200万円
中小事業者の生産性向上等に資する設備等の導入経費を補助	
4. 応援金の給付	1億3,675万円
福祉事業所や私立保育所・幼稚園等への応援金の給付	
特別・企業会計補正予算(一次)	[4億3,552万円]
特別・企業会計補正予算(二次)	[2億4,875万円]

補正予算(二次分)
かき養殖事業者への支援
や人件費の調整等

借入金への利子補給に50
0万円のほか、人事院勧告
や人事異動等に伴う人件費
の調整が主なものです。

【市民生活応援給付事業】
※ 対象者 本市の住民基本台帳(令和8年1月1日)に
記録されている者
※ 給付額 市民1人当たり5,000円分の商品券
住民税非課税世帯又は住民税均等割のみ課税
世帯に属する者には、1人当たり5,000円分を
加算

【子育て応援手当給付事業】
※ 対象者 児童手当支給対象児童(令和7年9月30日)
を養育する父母等
令和7年10月1日~令和8年3月31日に出生
した児童を養育する父母等
※ 給付額 児童1人当たり2万円

7人が一般質問

12月議会での水曜会の一
般質問では7人が登壇し、
市長を質しました。
質問者は左記の通りです。
(発言順)

- 大田祐介
リサイクル工場の復旧方
針について
- 喜田紘平
子ども医療費助成制度の
拡充について
- 木村素子
人口減少対策について
- 平川富章
介護人材の確保について
- 加藤陽一郎
学校体育施設の地域利用
について
- 橋高行格
新たな産業用地の創出に
ついて
- 千葉真一
手ぶら登園について

質問の一部は、2月1日
発行の「福山市議会だよ
り」に掲載されます。
また、市議会HPで動画
も視聴できます。

きだこうへい市政報告 vol. 14

令和8年3月

福山市議会議員 喜田紘平 第14回市政報告



44歳

喜田 紘平

皆様のお力添えのお陰で、一昨年4月に当選をさせていただき、当選からもうすぐ丸2年となり、3期目の議員活動も折り返しを迎えようとしております。今期も引き続き、市議会議員としての活動をさせていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。今期から仰せつかっておりました『民生福祉委員会』委員長の職務も、本年5月をもって任期満了予定となります。委員長としてその重責を担わせていただいたことは、大変大きな経験であり、やりがいを感じながら取り組むことができました。この経験を今後の議員活動にも活かし、引き続き全力で取り組んでまいります。また、昨年6月議会定例会・本会議では通算21度目、12月議会定例会・本会議では通算22度目となる一般質問の機会をいただきました。教育課題・子育て課題を中心に、日々さまざまな行政課題について、市長・教育長をはじめ、市職員の皆様と議論を重ねております。この度、私の市議会議員としての活動をまとめました『きだこうへい市政報告』第14号が出来上がりました。ぜひ一読いただければ幸いです。引き続き、皆様から変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

トピック 「若い世代の切実な声に、政治として応えたい」

中学生の方から、私の公式サイトを通じて市政に関するお問い合わせをいただきました。内容は「なぜ福山市は、近隣市のように子どもの医療費助成が高校生まで対象にならないのか?」というもの。

お電話番号が記されていたため、直接お話をしました。するとこの方は、現在治療を続けており、これから高校生になる中で、医療費を負担する保護者のことをとても心配し、非常に切実な想いでご連絡をくれたことが分かりました。

この課題は、私自身も長年問題意識を持ち、これまで何度も議会で取り上げてきました。そして12月の議会質問で、市長から前向きなご答弁をいただき、来年度からの実施に向けた可能性が見えてきました。

私自身の市議会議員選挙で掲げた公約の一つである、

「子ども医療費助成制度の18歳までの拡充」

これまでも議会本会議で、市長や執行部へ働きかけてきました。これまで市長は一貫して、国に対し全国一律の制度構築を求める姿勢でしたが、25年12月議会の私の一般質問に対する市長答弁では、その姿勢に加え、『18歳までの拡充を、市が先行して対応することも選択肢に入れ、検討を行い、新年度の予算編成において判断していきたい』と、これまでと大きく変化し、拡充に向け、初めて前向きなご答弁をいただきました。

中国新聞の朝刊にも、このことを記事として掲載していただき、まさに「山が動いた!」と実感しています。



【2025年12月5日 中国新聞】



声を上げる ことが難しい子どもたちの想いに、政治としてどう応えていくのか、改めて、その責任の重さを感じています。投票権のない若者が、政治に関心を持ち、勇気を出して声を届けてくれたこと、本当にありがたく、嬉しく思います。一日も早い制度実現に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

連絡先

Fax 084-993-4034

mail kidakohei.fukuyama@gmail.com

※次号からの郵送をご希望の方は、上記までご連絡下さい。

facebook



きだこうへい 検索



喜田紘平 Official HP
http://kidakohei.com

『6月議会 本会議での一般質問』

1. 子ども医療費助成制度の18歳までの拡充について
2. 保育所における誤嚥の安全対策と再発防止の徹底について
3. インクルーシブな雇用社会の実現について
4. 学校現場における熱中症対策について

『12月議会 本会議での一般質問』

1. 少子化対策について
2. 子ども医療費助成制度の18歳までの拡充について
3. 遊び場、公園環境の充実による子育て支援と魅力向上について
4. 学生が安心して学習できる環境整備について

上記の議会での質問の映像記録を、きだこうへい個人のホームページに公開しております。質問の様子の全てが公開されておりますので、こちらもぜひご覧ください。



(議会での質問動画)

1 保育所における誤嚥の安全対策と再発防止について

Q 2018年に福山市立保育所で発生した誤嚥事故を受け、市は責任を認め解決金の支払いを決定しました。事故を二度と繰り返さないため、保育所では誤嚥防止のためにどのような再発防止策を講じたのか、また、保育士をはじめとする職員の**応急手当**や誤嚥対応に関する**研修体制**についても、重要な課題となっており、市長へ問い質しました。(一部抜粋)

A 市長から、「事故を受け、子どもの食事について、どのような食材も窒息につながる可能性があることを再確認するとともに、食事介助中は、子どもから目を離さず、個々の嚥下の様子を確認すること、子どもが食事の途中で眠くなった場合は、食事を中断すること等を、**市内全ての保育施設に注意喚起**を行った。救命講習については、事故後直ちに実習型も取り入れた。**心肺蘇生やAEDの講習会も開催している。**」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

保育所での誤嚥事故に対し、改善策として食事中の子どもの観察や研修が強化されていますが、全職員に対して研修の参加率が低い現状です。市として、研修の参加率を上げ、現場での実践力向上を目指していただきたいと要望しました。加えて、保育士の勤務環境の改善やストレス軽減のために、職員体制の強化を要望しました。

2 学校現場における熱中症対策について

Q 近年、日本の夏の暑さはもはや異常ではなく恒常的な暑さとなっており、特に学校現場では熱中症対策が喫緊の課題となっています。登下校時の水筒の持参に関して、**転倒による大ケガのリスク**が指摘されています。また、学校におけるウォーターサーバーや冷水機の設置状況についても学校によって整備の状況には差があり、全校への整備により、**安全で持ち運びの負担の少ない給水手段**が、保護者から強く求められています。体育館へのエアコン整備に関しては、今後全ての体育館へのエアコン設置を検討すべきだと考えます。(一部抜粋)

A 教育長から、「水筒の持ち運び時の転倒事故の危険性について、日頃から指導するよう学校に通知している。暑さ指数が31度を超えた場合は、**活動の中止や延期、活動内容の見直し**等を行っている。冷水機は現在、小学校6校、中学校9校、義務教育学校1校に設置している。今後、状況等を見ていく中で、適切に判断していく。体育館への空調整備については、効果を検証する中で検討していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

学校の熱中症対策として、校内での給水手段の確保、プール授業での対策と民間のプール施設へのスムーズ移行、全体育館へのエアコン設置、県内で広がる涼しい制服の学校への情報提供等、要望しました。

3 学生が安心して学習できる環境整備について

Q 学生が自習するために多く利用している**中央図書館**の混雑状況や、その他の市内図書館の実態、若者の学びの場の確保に対する市の考え、さらに民間施設の一部を中高生向けに**無償開放する仕組み**についての考えをお聞きしました。(一部抜粋)

A 市長・教育長から、「中央図書館には、閲覧席が120席あるが、多い日には、**開館前に300人の列**ができる。東部図書館では、閲覧席が満席になる状況があるが、その場合、生徒等は東部支所内のサロンを利用している。その他の図書館については閲覧席に余裕があり、需要を満たしている。今後は、ネウボラセンターに**多目的スペース**、まちづくり支援拠点施設に**オープンスペース**をそれぞれ設置すると共に、空きスペースの提供を民間にも呼びかけるなどの取組を進める。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

中央図書館について、来年度整備される新たな学習スペースへできる限りの席数確保と、夜間も利用できる体制づくり、またその施設の学生への情報リーチの要望、ローズコム4階の国際サロンのスペース拡張と席数増といった即効性のある改善の要望をしました。
(2025年12月5日中国新聞)

4 少子化対策について

Q これまでのネウボラや庁内プロジェクトチームの取組が出生数の改善にどの程度つながったのか、**その成果と課題**をお聞きしました。あわせて、新設する専門家会議が従来とどう違い、どのように実効性を高めるのか、専門家への情報提供の方法、提言を新年度予算にどう反映し、**長期的な少子化対策としてどう定着させるのか**、お聞きしました。(一部抜粋)

A 市長から、「合計特殊出生率が全国や広島県の平均より高い数字を維持し、出生数の減少率も近隣都市と比べて低く抑えられているが、全国のほとんどの都市と同様、**少子化には歯止めがかかっていない**。新年度予算に反映できるものは、速やかに具体策の検討を進め、新年度以降も、必要に応じて、委員の考えも伺いながら、その時々求められる取組を行っていき、毎年度効果検証を行い、**より有効な少子化対策**へと柔軟に見直していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

5 遊び場・公園環境の充実による子育て支援と魅力向上について

Q **屋内遊び場が不足**している現状を踏まえ、屋内遊び場や既存施設の拡充の整備方針、また全天候型大型遊戯施設の今後の整備の可能性をお聞きするとともに、屋外公園の遊具等の老朽化や町内会の管理負担を**どう改善していくのか**をお聞きしました。(一部抜粋)

A 市長から、「屋内の遊び場については、子育て支援や地域活性化の観点からも必要であり、交流館のキッズスペースの試行の拡充や、既存施設も含めた利用状況、民間施設の供給量、地域ごとの需要などを調査、研究し、**将来的な整備のあり方**をとりまとめていく。地域が主体となった魅力ある公園づくり事業に取り組み、担い手の発掘と様々な主体が管理に関わる仕組みづくりにつなげていきたい。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

『福山目安箱』

今回の質問項目も、私のホームページ上での市民の方からの市政へのご意見やご要望をお聞かせいただくシステムである、「福山目安箱」に寄せられた、市民の方からの生の声も参考にさせていただき、質問を構成しました。

お気軽に皆さまのお声をお聞かせください

『福山目安箱』

福山に暮らしていて困っている事、改善してほしい事、もっとこうすれば福山の街が良くなる事...などをお聞かせ下さい!!



お名前・ご連絡先の記入は必要ありません。皆さまのお声を参考に、議会の場で提案させて頂いております。

市民相談

市民の方からお寄せいただきましたご要望・ご相談の案件にお答え・お手伝いしました (一部抜粋)

「白線が消えている横断歩道①」

「横断歩道も停止線も白線がほとんど消えていて、通行車両が横断歩道の存在に気付にくく、一時停止することなく通りすぎる車両も多い。交通量が多く、事故に巻き込まれる危険もある。何とかならないだろうか?」**現地を確認し、担当課・広島県警にて協議。現地確認・対応へと進み、再整備が完了しました。市と警察との橋渡しができ、大きな事故に繋がる前に対応が完了し、非常に嬉しく思います。**



修繕前：ほぼ消えていた 修繕後：再整備完了

「白線が消えている横断歩道②」

「学校のすぐ側にある複数の横断歩道が消えかかっていて、登下校中の子どもたちがかなり危険であると感じる。登下校の時間帯は車の通行もかなり多く、スピードを出すドライバーもいる。子どもたちが渡ろうとしても、ドライバーが停車しない場面を何度も見ていて、いつ事故が起きてもおかしくない。」**現地を確認し、担当課と協議。担当課もすぐ横断歩道を引き直してくださいました。**



「危ない駐車場」

「福山メモリアルパークの新しい駐車場は、公園と隣接するため、公園内でボール遊びをしている子がボールを追いかけ、頻りに駐車場に飛び出しとても危ない!何とかならないだろうか?」**現地を確認し、担当課と協議。担当課も危険性がかなり高いとご判断くださり、応急措置の簡易的なものにはなりますが、すぐに防球ネットの整備を行ってくださいました。この先、簡易的なものから、本格的な防球ネットへの差し替えについては時期を見て行う予定です。**



きだこうへい 市民相談Q&A 検索 ←こちらにて、上記以外にも、ご要望・ご相談の案件をまとめています。

日々の活動の様子



亡き父の誕生日にゆかりの地・水呑で立ち。初出馬から10年、原点の場所でも初めに帰る、決意を新たにしました



6年前のご縁でイスラエル大使をお迎えし副市長へアテンド。世界パラ会議への協力など、市との絆が深まりました。



常石とともに学園の子ども達からの質問に回答。鋭い意見に私も勉強になりました。子ども達の政治への興味関心を願っています。



不登校支援をされている「かさねて」で意見交換。学校経営と議員、両方の視点で支援充実を考えました。



日本理化学工業を訪問し大山代表と再会。障害者雇用の理念と姿勢に、改めて強く心を打たれ、大変勉強になりました。



「教育委員会と学習塾との連携」「英語指導法の見直し」「デジタル採点の導入」が決定。長年の要望が実現し、教育環境が大きく前進します。



空手道大会の会長を務めました。全国から千人超が集結し、熱戦による感動と地域の活性化を実感!



さいねい龍二さん、森崎浩司さんと同窓会を發足。広島を盛り上げるべく、互いに切磋琢磨を誓いました。



6年前の提言が前進。プール授業の民間活用で250億円のコスト回避と、熱中症対策・指導の質向上を実現します!



全国学力トップレベルの秋田市視察。所得に関係なく学力を伸ばす政策を学び、学力の低迷する本市に必ず活かします。



二上りおどり大会に市議会チームで参加。沿道の声援に感謝! この熱気で福山の街をさらに盛り上げていきます。



議会報告会でPTAの方々と車座トーク。膝を交えて向った子育て世代の率直な声を、今後の活動の糧にします。



班主催の議会報告会で車座トーク。皆様の声を逃さぬよう丁寧にメモを取り拝聴。頂いたご意見を市政に届けます。



岐阜市長が新大構想の視察で来福。岐阜市長からのご指名で意見交換に同席しました。本市の知見が役立つことを願っています。



小池病院様のご縁で栗林投手と交流。守護神から先発へ挑む決意に刺激を受け、私も新たな挑戦への力を頂きました。